

前回までの会議で確認した自治協議会等の状況について

【第1回、第2回での懇話会意見(集約)】

<p>○行政からの依頼が多い ⇒トップダウンの階層組織型で動かざるを得ない状況を作っているのは市の責任もある。 多様な市民に関わって頂ける機会を作って頂きたい。</p>
<p>○市の各会議において、自治協議会の会長として出席した際に、地域の代表意見を出すことは非常に難しく、できない。 ⇒自治協議会や自治会の役割は、本音が言える場所を作り、議論をして、合意形成を図る事である。自分達で調整できる雰囲気や協議の場所を作るのが、これからの地域に求められる。</p>
<p>○これまでのまちづくりの実績から見て、丹波市に自発的に動く人を発見して増やす事が本当にできるだろうか。 ⇒動ける人がいるにも関わらず、そういう機会、雰囲気を作っていない限り、動ける人は見つからない。</p>
<p>○40代、50代の方は、仕事もあり活動に参加するのが難しい。 ⇒いろいろな知恵やノウハウ、行動力を持った人材はいる。働きながら、その人のペースに合わせた活動ができる環境が出来ると、若い方々が活躍できる場面が出てくる。</p>
<p>○10年後20年後の丹波市のことを考えて、青垣の小学校統合が良い事例になるように活動しているが、まだまだ課題があると思う。これからは自治協議会の連携も考えていく必要がある。 ⇒校区よりも小さな単位でもっと身近な単位でやったらいい事業はそうやってもらったらいいし、校区を越えてやっていくのであれば、負担金も分担してやれば良いと思う。柔軟に一番効果のある方法を考えて頂ければいい。</p>

【自治協議会へのアンケート結果】

組織運営

<p>【特筆的なもの】</p> <p>○若い人の意見、本音を聞く取り組みをしている。 ○様々な活動を部会に落とし込んで、自立的に活動をしてもらっている。 ○地域づくり計画の進捗確認と見直し会議を最低年2回開催して、参加者が自由に発言できる場を作っている。 ○月例会を開催しており、情報の共有化と意見交換を行っている。</p>

【課題となっているもの】

<p>○役員のなり手がいない。 ○組織運営については情報の共有を最優先し、報・連・相の徹底を図る方向で動いているが、まだ、十分とは言えない。 ○積極的に名乗りを挙げる人が無く、役員の重複が多い。</p>

活動内容

【特筆的なもの】

- 様々活動をしたい団体に対して、支援を行っている。
- 共通する課題は、他の関係団体と連携して行っている。
- 事業終了後、評価会を行い次年度につないで行くことを行っている。
- 安心安全なまちづくりとして、空き家対策、百歳体操にも注力している。

【課題となっているもの】

- イベントに経費がかかり、マンネリ化している。見直しが出来ていない。
- 既存の活動は経験の積み重ねで、何とか出来ているが、やり方を変える、取りやめるという決断はなかなかできない。
- イベント(祭りの)な活動が主になりすぎている。地域の生活環境支援・改善の活動にもっと力を入れるべき。

